

平成26年2月5日

ワーキンググループリーダー 森田 廣

実施年度	平成 25 年度
ワーキンググループ名	地域・産業界連携ワーキンググループ
グループの目的	中・四国地域を中心に、事業参加大学や産業界、自治体等との連携を新たに創り出し、他のWGで実践している、ものづくり教育やキャリア教育に展開する。
グループの目標	前年度に構築した連携基盤を元に連携活動推進と他WGへの展開を行う。

〔 達成状況評価 〕

目標項目	目標達成状況	自己評価
学内諸活動との情報交換・連携	WGリーダー会議や日常活動を通じて、他WGや学内実活動組織との情報交換、現状の課題把握やこれまでの活動成果の評価・共有を行った。	十分に達成されている
他大学、地域との情報交換・連携	岡山理科大、岡山県立大との連携会議や交流、地域を含めた合同シンポジウム等を通じて、情報の共有化や課題の把握・解決方法の議論を行った。	十分に達成されている
地域・産学連携に関する提案の検討と実施(継続)	事業全体で実施のアンケート、当方実施のシンポジウム、地元企業や自治体との意見交換や交流会を通して浮かび上がった課題を解決すべく、地域連携センターを設置し、その運営方針を決めた。今後、実活動による成果を目指す。	ほぼ達成している
シンポジウム開催準備と実行	本WGメンバーが主体となり、地域大学連携シンポジウムを企画し開催した。多数の参加を得、各大学の活動や地域との連携状況、今後の方向付けができた。	十分に達成されている

※「目標項目」は「グループの目標」に基づいてさらに具体的な項目を策定する。

【推進本部会議評価】

評価	評価コメント
概ね趣旨を反映した事業遂行が図られた	シンポジウム開催や連携大学との学生を含めた交流等、成果を上げている。地元産業界との連携が今後の課題である。

推進本部会議委員長(取組担当者) 酒井 吉雄

【評価委員会最終評価】

評価	評価の理由
目的、目標に概ね適合している	他大学との連携基盤構築に対してシンポジウム開催を実施し、一定の成果を上げている。学内に対する一層の広報活動と地域・地元産業界との連携をさらに推し進めることが必要である。

評価委員会委員長 稲垣 詠一